

東町商店街のクリスマスイベントで、リース作りを企画した九州工業大の学生や関係者



お菓子入り リース作り

九工大生が初企画

20日にXマスイベント 飯塚の商店街

開く。催しの一つとして、九州工業大生が企画したお菓子入りのクリスマスリース作りが初めてある。

飯塚市の東町商店街は20日午前10時～午後4時、クリスマスイベント「商店街のゼーんぶクリスマス」を

リース作りは、ゼミの環境で商店街の活性化策を考えている九工大情報工学部(飯塚市川津)の電子情報工学科3年の5人が発案した。東町商店街の街なか交流・健康ひろばで開く。絵を描いた白い紙でキャンディーやチョココレートを包んで輪にし、毛糸などで飾り付ける。21日から31日まで計11個の菓子を1個ずつ取り出して食べ、正月を迎える「カウントダウンキャンディーリース」という。対象は幼児と小学生。150人分を準備する。

九工大生の川棚湧貴さん(21)は「子どもたちに、商店街に来れば楽しいことが

あると思ってほしい」と話した。

他に、雑貨や手芸品、ネイルアート、マッサージなどの約20店が出る「クリスマスマルシェ」もある。

午前11時、午後1時半から20、30代中心の地元ブラスバンド「旬管オルケスタ」コンサート。正午から飯塚市の明星保育園のマーチングバンドが演奏する。

東町商店街事務所110948(22) 4075。

(野津原広中)